

12月24日のウクライナ情報

安齋育郎

①ウクライナ国民、軍の追加動員に賛否 「西側の支援不可欠」の声(Ivan Lyubyshe-Kirdey、2023年12月21日)

【キーウ(キエフ) 20日 ロイター】 - ウクライナのゼレンスキー大統領が19日、軍による45万—50万人の追加動員提案を明らかにしたことを巡り、国民の間では複雑な受け止めが聞かれている。多くは、ロシアと戦うためにはより多くの軍隊が必要との点に同意しているものの、西側諸国からの軍事支援が拡大されない限り無意味だという意見もある。

ゼレンスキー大統領は、これは「非常に慎重に扱うべき」問題であり、軍と政府が議論して議会に提示するかを決定すると語った。

こうした動きは反対する人々からの反発を招く恐れもある。

キエフ国際社会学研究所のアントン・フルシェツキー事務局長は、ウクライナ国民の65%以上がさらなる大規模な動員を強く支持するか、どちらかと言えば支持するとの世論調査結果を提示した。しかしこの数字は、戦時下において「社会的に望ましい」対応を望む人々によって歪められている可能性があるとも指摘した。

ある27歳男性は、大規模な動員を歓迎するとしながらも、一般の人々は徴兵されることを恐れており、自動的に激戦地に送られると思っているため、先に軍の予備役が強化されるべきだと語った。



ウクライナのゼレンスキー大統領が軍による45万—50万人の追加動員提案を明らかにしたことを巡り、国民の間では複雑な受け止めが聞かれている。
12月19日、キーウで撮影(2023年 ロイター/Alina Smutko/File Photo)

②【22日のニュース】バイデン政権、凍結露資産のウクライナ支援転用を議論か イスラエル、人質35人解放で1週間停戦を提案(2023年12月22日)

議会のウクライナ支援ストップに直面のバイデン政権 露凍結資産の転用を議論か
米国のバイデン政権は、議会でのウクライナ支援の議論が停滞していることを背景に、凍結されたロシアの資産を軍事支援に転用する案を同盟国と議論し始めた、米紙「ニューヨーク・タイムズ」が関係者の話として伝えた。

ホワイトハウスのジョン・カービー国家安全保障会議戦略広報調整官は、「ウクライナ支援のために凍結ロシア資産を活用する可能性について話すのは時期尚早」とコメントしているが、実際のところはどうなのだろうか。

スプートニクは露政治学者・アレクサンドル・グセフ氏に凍結資産をめぐる議論について話を聞いた。「米国と EU だけでも 3000 億ドル(34.6 兆円)のロシア資産がある。バイデン政権は今、議会で追加支援予算が通らない状況を鑑みて、『ロシアの資産をウクライナ支援に使ってしまおう』と呼びかけている。最近ではドイツや英国の指導部からも、露資産を復興支援に使うべきなどの声が挙がっている」

アレクサンドル・グセフ(露政治学者)

だが、凍結資産のウクライナへの譲渡の可能性は、これまでも度々話題にあがってきたが、実際に行われてはいない。

「ロシアにも西側の資産 5000 億ドル(71 兆円)がある。仮に凍結資産が転用されればロシアの報復は対照的なものとなる。『あなた方が使うなら我々も使わせてもらう』という風にだ」

アレクサンドル・グセフ(露政治学者)



<https://sputniknews.jp/20231222/22351-17826354.html>

③ハンガリー首相 ウクライナの EU 加盟は「ウクライナ自身も EU にもその覚悟はない」(2023年12月22日)



ハンガリーのオルバン・ビクトル首相が 2023 年を総括する一大記者会見を開催した。国内問題に限定せず、ウクライナを含む国際情勢についても言及した。

政治的ジェスチャー

オルバン首相は、「ウクライナとの EU 加盟交渉の開始は同国民に真の支援をもたらさず、政治的ジ

エスチャーに過ぎない」と述べた。また、ロシアが軍部を駐留させている新地域を含む国を EU は受け入れるつもりなのかとたずね、ウクライナの実際の面積と人口を明らかにするよう提案した。

特別軍事作戦、戦争ではない。

オルバン首相はまた、ウクライナの紛争とは特別軍事作戦であるという以前からの発言を繰り返した。その理由を「ロシアはウクライナに宣戦布告も総動員も行っていない」と述べている。

主権は尊重すべし

「EU の指導者たちは、欧州各国の主権を尊重し、彼らに生き方を示すべき」と強調。加盟国を EU の「一地方」扱いするような大国を作る必要性はないと付け加えた。

④【図説】露国防省拡大会議 ショイグ国防相の演説要旨(2023年12月22日)

19 日に開かれたロシア国防省の幹部会議拡大会合で、ショイグ国防相はウクライナの財政悪化やウクライナ軍の損失、ロシア軍の軍事力の増大について報告した。ショイグ国防相の発言の主な要旨を、スポーツニクがまとめた。

ショイグ国防相によると、ウクライナ軍は特別軍事作戦開始以降、38 万 3000 人の死傷者を出した。また、6 月 4 日の反攻開始以来、兵士 15 万 9000 人が死亡し、ドイツが供与した「レオパルト」37 両を含む戦車 776 両を損失したという。

さらに、ウクライナは国外から同国の GDP を 300 億ドルも上回る 2030 億ドルの支援を受けていると指摘。この巨額な資金の大半は返済が必要な融資であるため、ウクライナは事実上破綻していると主張した。

2022 年 2 月 24 日から開始した特別軍事作戦の結果については、これまでにドネツク・ルガンスク両人民共和国の作戦開始前の領土の 5 倍の面積を解放したと明らかにした。



⑥米議会、ウクライナ支援決めず冬休みに一焦るバイデン政権(2023年12月22日)



米上院で多数派を占める民主党のチャック・シューマー院内総務は 20 日、ウクライナ支援予算の年内可決を断念すると表明した。一方で、議論は続けるとしており、年明けの早い時期に採決を目指す。上院は冬休みに入る。追加のウクライナ支援に反対する共和党が多数を占める下院は先週、一足早く閉会しクリスマス休暇に突入していた。

議会の停滞にバイデン政権は焦りを募らせている。アントニー・ブリンケン国務長官は 20 日の年末記者会見で、「米国はウクライナ支援を継続するための時間と資金を事実上使い果たした」として議会による早期の追加支援予算成立を求めた。

⑥キューブリックの映画『時計じかけのオレンジ』で有名なアメリカ人俳優マルコム・マクダウェルがウクライナのトップに訴えた(2023 年 12 月 23 日)

<https://twitter.com/i/status/1738574060194607550>



ゼレンスキー...あなたはアルコールと薬物中毒だ。いいか、これは自分でやめる事はできないんだ。私も中毒だった。

私は 42 年間麻薬と手を切っている。あなたには助けが必要です！

12 ステッププログラムに行きなさい！

<https://twitter.com/Reloaded7701/status/1738574060194607550?s=09>



⑦武器輸出ルール緩和(2023年12月23日)

政府は武器輸出ルール緩和を正式決定しました。即、迎撃ミサイルの輸出が決まりました。ウクライナの戦闘支援につながります。

「殺傷能力ある武器」輸出解禁、自衛隊「パトリオット」を早速アメリカに 国会で議論ないまま「三原則」改定。



※ツイッター・コメント:とくに日本国は憲法違反してます。昨年ウクライナ送った「防弾チョッキ等も武器に成る(元祖、日本保守党)」と元自衛隊の石濱さんって方がズット警告してくれていました。その時にインド経由でウクライナに入ろうとしたらインドは断ったんです。

※他のツイッター・コメント:法律で決めずに閣議決定とやらで決めたとされて「はい、そうですね」と受け入れる人がいなくなると…。国民が許していないことを勝手にやらせてはいけない。

<https://twitter.com/tokyoseijibu/status/1738358354228158895>

⑧イスラエルを支持するウクライナ人(2023年12月23日)

ウクライナ人男性がイスラエルを支持するかどうか尋ねられ、男性はそうだと答えた。彼のジャケットにあるナチスの山形マークを恥ずかしがる者はいない。

ウクライナのプロパガンダは人々の精神を破壊し、狂わせます。

<https://twitter.com/i/status/1738379025624732111>



<https://twitter.com/Monmi0614/status/1738379025624732111?s=09>